

## 令和3年度 学校評価の結果と状況分析

### 1 アンケートの回収状況

	対 象	対象者数	回答数				回答率
			小	中	高	計	
1	教員	32	10/10	7/7	15/15	32/32	100%
2	保護者	44	11/11	6/11	12/21	29/43	67%
3	学校評議員	5	5/5				100%
4	ばんだい荘職員	7	8/8				100%
5	高等部生徒(通常)	18	17/17				100%

※保護者は世帯数を表す。11月1日現在在籍児童生徒保護者を対象として実施

### 2 評価結果と学校経営・運営ビジョンにおける達成概況

#### (1) 評価結果

ビジョンの内容	教員	保護者	ば荘	評議員	状況
楽しく登校できる学校	4	4	4	4	◎
自分からあいさつできる力の育成	4	4	4	4	◎
夢中になれることを探究できる力の育成	4	4	3	4	○
伝える力の育成	4	3	4	4	○
学びを適切に計画・評価	4	4	4	4	◎
ICTの活用	4	3	4	4	○
公共交通機関の利用・マナーアップを目指した態度の育成	3	3	4	3	○
早期から進路について考える学習の機会の設定	4	3	4	4	○
「自分手帳」の活用・生活習慣の改善と健康づくり	4	3	4	4	○
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底	4	4	4	4	◎
「分かった。できた。」を実感できる授業の工夫	4	4	4	4	◎
地域の方々の理解と協力を得て、教育環境の整備	4	3	4	4	○
ニーズに応じた「はあとふるタイム」や教育相談の実施	4	4	4	4	◎

※ 教員、保護者の評定は、3学部の評価を合わせた割合として評定をしている。

※ 評定は、以下の基準で行う。

評定	評 価 基 準
4	「A」と「B」を合わせて90%以上で、「C」と「D」を合わせて10%以下の項目がある場合
3	「A」と「B」を合わせて70%以上であるが、「C」と「D」を合わせて30%以下の項目がある場合
2	① 「A」と「B」を合わせて40%以下であり、「C」と「D」を合わせて60%以上の項目がある場合 ② 「C」と「D」のいずれかが40%を越える項目がある場合
1	「C」と「D」を合わせて80%以上の項目がある場合

<ビジョンの達成状況>

「達成している」 → ◎	評定が対象区分において、すべて「4」である場合
「概ね達成している」 → ○	評定が対象区分において、「4」と「3」である場合
「改善を要する」 → △	評定が対象区分において、「2」がある場合
「問題がある」 → ×	評定が対象区分において、「1」がある場合

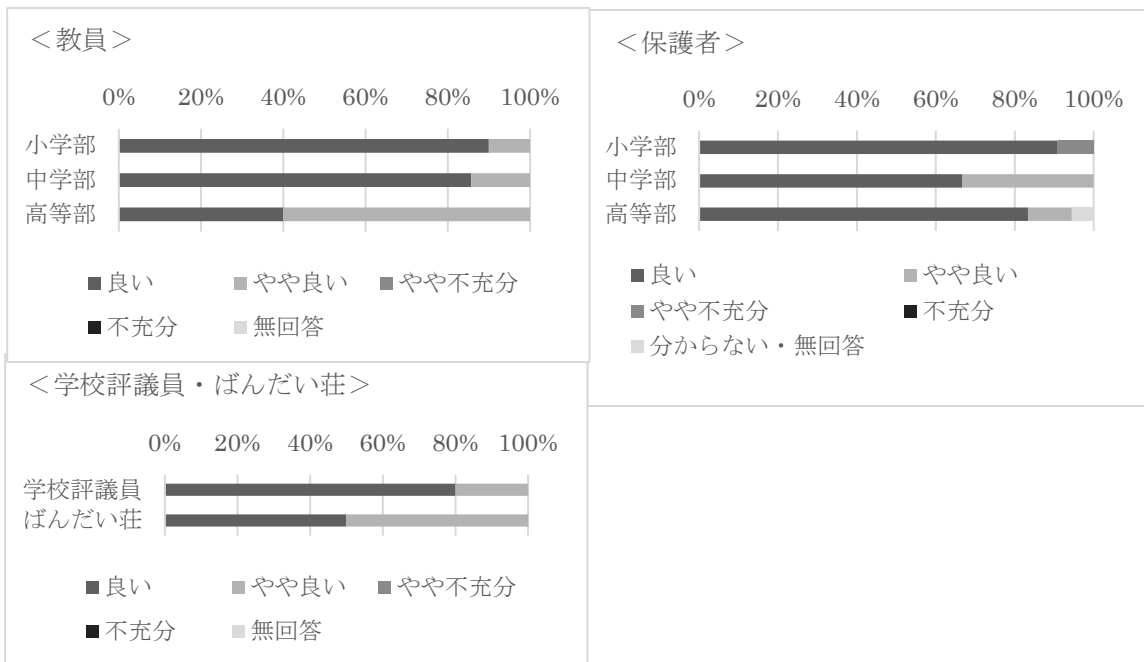
(2) 概況

- ① 全ての評価項目において、教員、保護者、学校評議員、ばんだい荘職員ともに概ね評価ポイントが高いことから、学校の取り組みとして、学校経営・運営ビジョンが達成されていると評価されたと言える。
- ② 教員の評価は、概ね評価ポイントは高いが、公共交通機関の利用・マナーアップを目指した態度の育成に関して「やや不十分」との評価があった。本校の立地条件等もあり、公共交通機関の利用については、まだまだ少ないが、児童生徒の将来を考え、今後も取り組む必要がある。
- ③ 保護者の評価は、楽しく登校できる学校、学びを適切に計画・評価に関する評価ポイントが高く、学校生活及び学習の取り組みについては概ね満足を得られている。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底でも評価ポイントが高く、感染症対策について概ね満足を得られている。一方で、ICTの活用、公共交通機関の利用・マナーアップを目指した態度の育成、早期から進路について考える学習の機会の設定、「自分手帳」の活用・生活習慣の改善と健康づくり、地域の方々の理解と協力を得て、教育環境の整備については、比較的評価が低い傾向がうかがえる。
- ④ 学校評議員の評価は、概ね評価ポイントが高い。しかし、その中でも公共交通機関の利用・マナーアップを目指した態度の育成については、「やや不十分」との意見もあり、事由記述にも「継続した利用をお願いしたい。」とあった。今後も継続して取り組む必要がある。
- ⑤ ばんだい荘職員の評価では、楽しく登校できる学校、学びを適切に計画・評価、早期から進路について考える学習の機会の設定、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底、「分かった。できた。」を実感できる授業の工夫、地域の方々の理解と協力を得て、教育環境の整備に関する項目が他の項目と比べて比較的高い評価を得ており、本校の教育実践の理解とお互いに協力、連携しながら児童生徒の指導、支援に当たっていると実感されていることが推察される。一方で夢中になれることを探究できる力の育成について「やや不十分」との意見があり、ばんだい荘においても、その点について課題であると考えられているようである。

### 3 各項目における評価結果と評価者間の比較・分析

注：各回答間の比較において「多い」、「少ない」の表現で分析を行っているが、実数の比較ではなく傾向の比較として解釈すること。

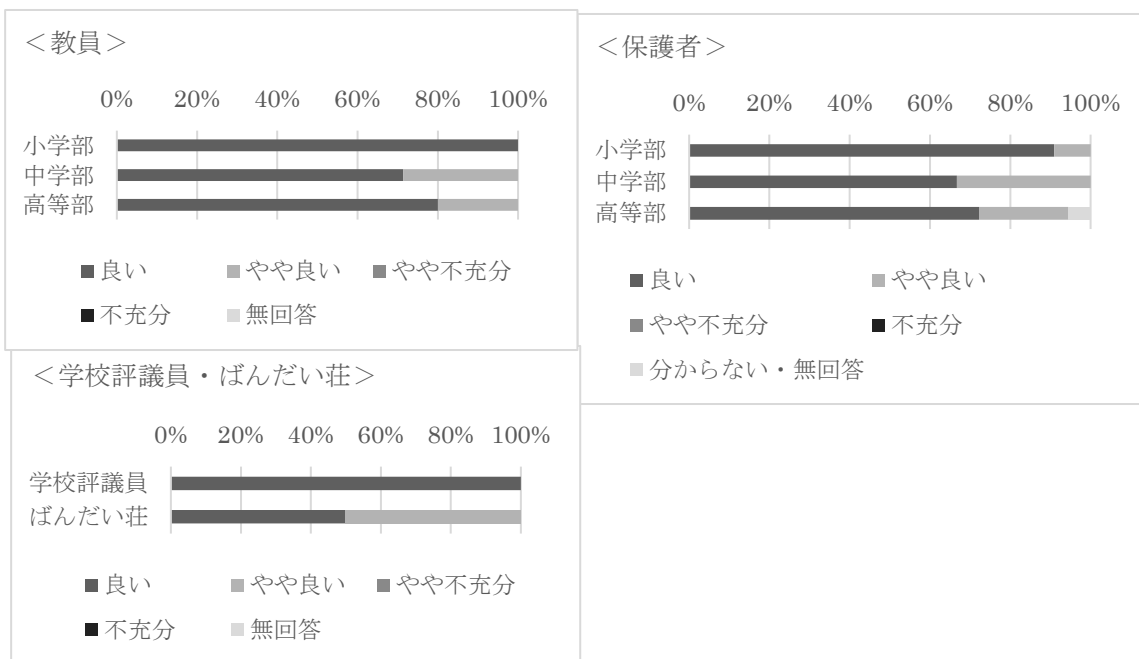
#### (1) 楽しく登校できる学校



教員、保護者、学校評議員、ばんだい荘職員いずれもほぼ「良い」、「やや良い」で評価している。児童生徒が概ね楽しみを感じながら登校していると評価している。小学部において「やや不十分」という回答があったが、意見が示されていないため、明確な理由は不明である。

- ・ 教員は児童生徒の年代が上がるにつれ、「やや良い」の割合が高くなる傾向がうかがえた。
- ・ ばんだい荘職員は約5割が「やや良い」と評価しており、ばんだい荘に入所している児童生徒の様子を踏まえて、児童生徒は楽しみながらも、様々な思いを抱えて登校していることを示唆していると考えられる。

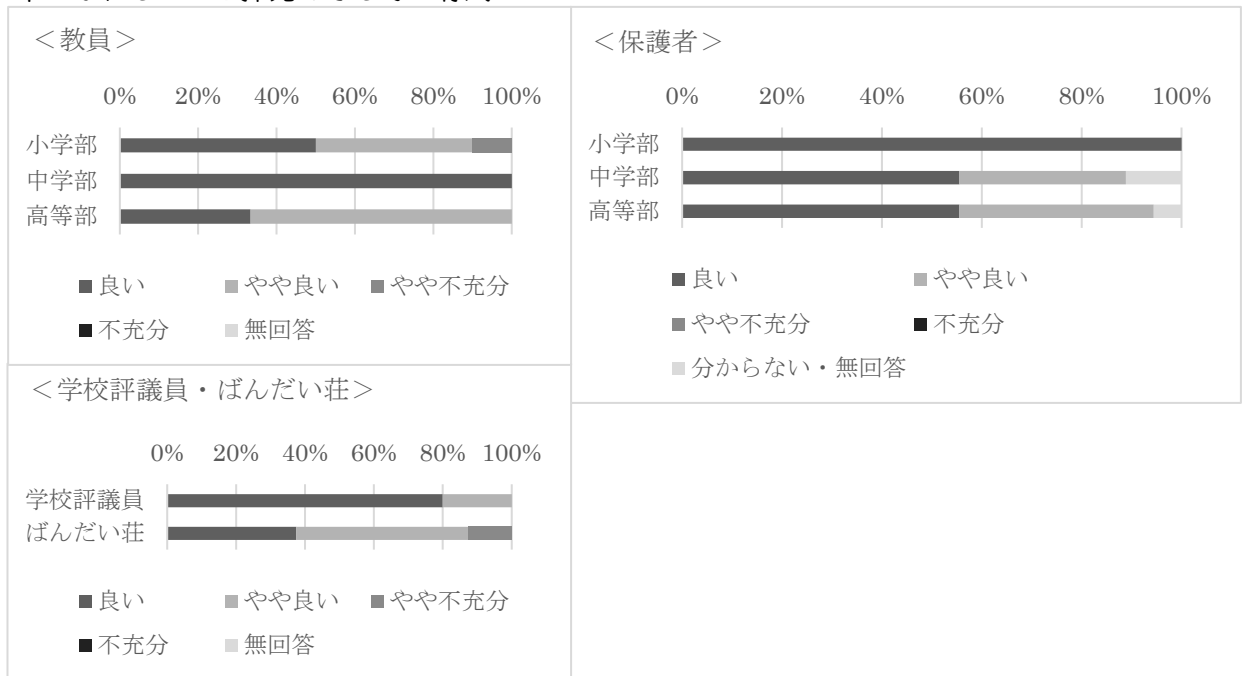
#### (2) 自分からあいさつできる力の育成



保護者に「分からない」という評価が見られたが、ほぼ「良い」、「やや良い」で回答しており、概ね児童生徒が自分からあいさつできる力を育成することができたと評価する。

- ・ ばんだい荘職員からは、「立ち止まってる挨拶がすばらしいです。」との記述をいただいております、実感として挨拶の良さを感じていただくことができた。

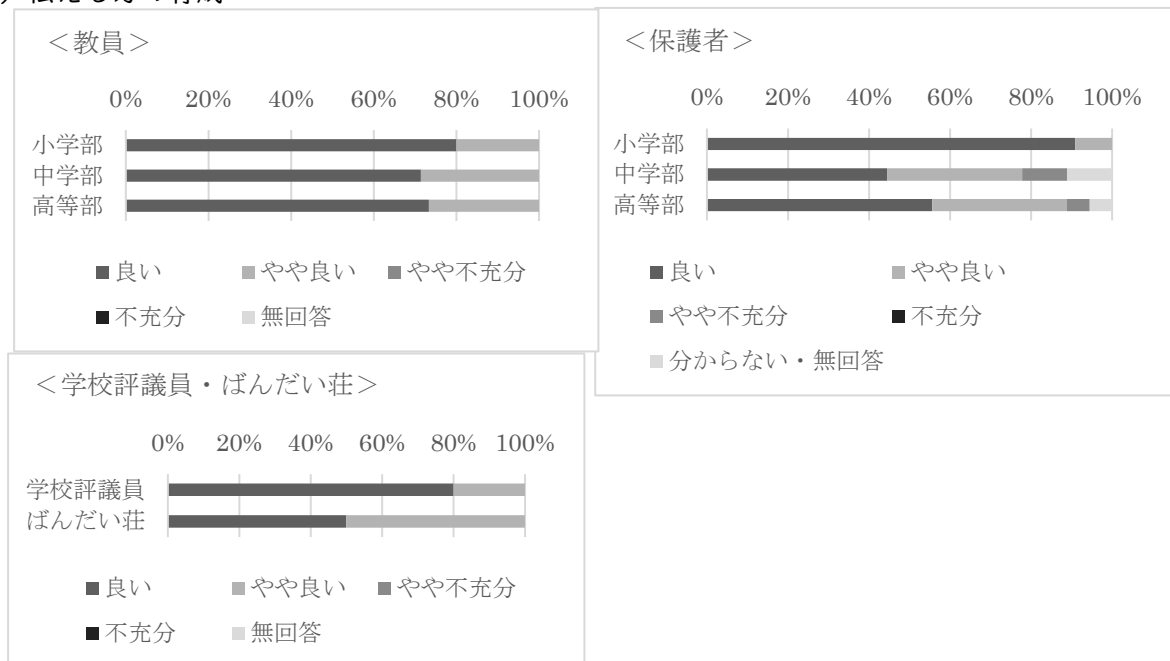
### (3) 夢中になれることを探究できる力の育成



教員はほぼ「良い」「やや良い」と回答しているが、小学部に「やや不十分」という評価が見られた。保護者は「分からない・無回答」があり、学校評議員は「良い」「やや良い」と回答しており、ばんだい荘職員には「やや不十分」との回答が見られた。今後も継続して指導していく。

- ・ 教員の「やや不十分」は、「経験が少なく、興味の幅も狭いため、いろいろな機会を与えて選択肢を広げる必要がある。」という理由であり、今後の経験の積み重ねを期待したい。
- ・ 保護者の「分からない・無回答」については、意見が記されていなかったため、明確な理由は不明である。
- ・ ばんだい荘の「やや不十分」はばんだい荘の中でもこのことが課題とされていることが記されていた。

### (4) 伝える力の育成

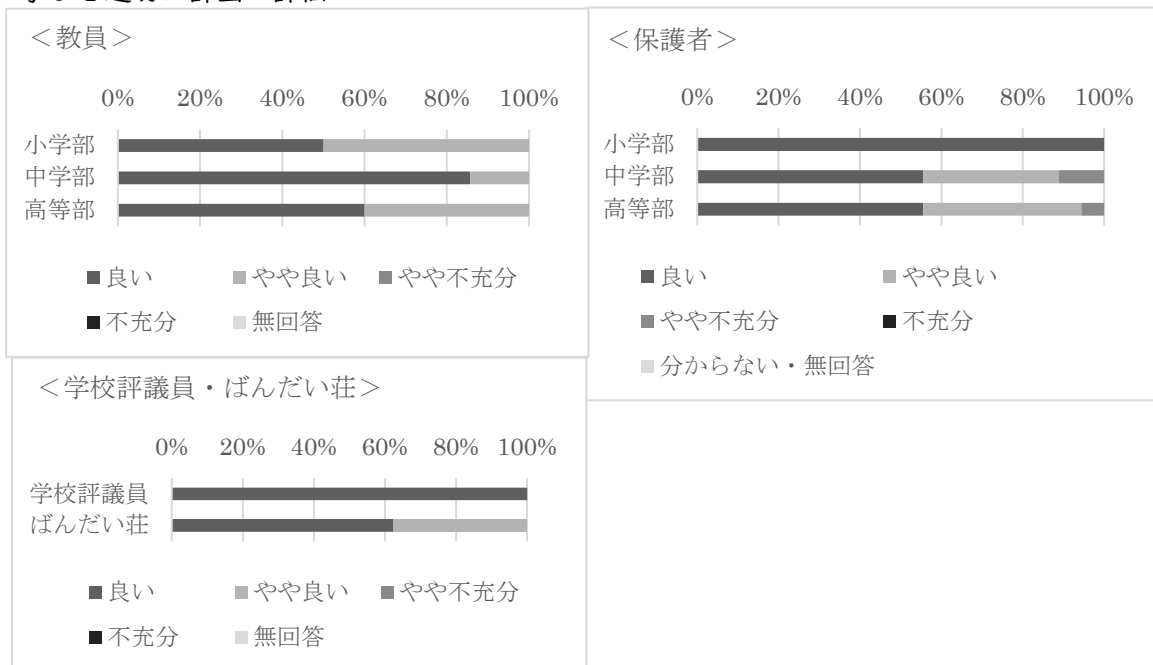


教員、学校評議員、ばんだい荘職員ともに「良い」、「やや良い」で回答しているが、中学部、高等部の保護者の中には「やや不十分」「分からない・無回答」との回答が見られた。

- ・ 教員の評価は、全体的に高く、伝える力が児童生徒に身につけてきていると実感していることが分かる。
- ・ 保護者の評価は、中学部、高等部において一部「やや不十分」と回答している。特に意見が

記されてはいなかったが、自分の子供にもっと伝える力をつけてあげたいという気持ちからのものではないかと推測される。

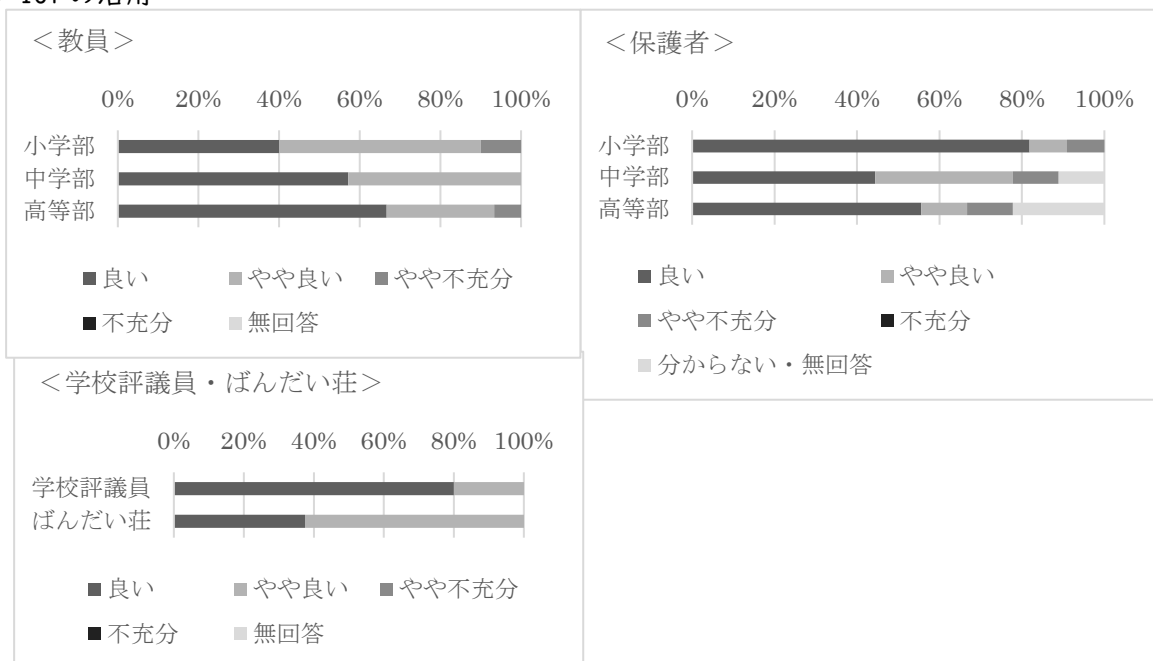
(5) 学びを適切に計画・評価



教員、学校評議員、ばんだい荘職員は「良い」、「やや良い」と回答しており、概ね学びを適切に計画し、評価することができたと評価している。しかし、保護者の中には中学部・高等部で「やや不十分」といった回答も見られた。今後も継続して取り組んでいきたい。

- ・ 教員は、全員が「良い」「やや良い」と回答しており、近年本校で取り組んできた新学習指導要領を基にした教育課程の改善や個別の指導計画等の改訂などから児童生徒の適切な学びにつながってきていると捉えていることが分かる。
- ・ 保護者は、ほとんどが「良い」「やや良い」と評価しており、改善した児童生徒の学びが適切に計画・評価されていると感じていると思われる。しかし、「やや不十分」との回答もあることから、さらに児童生徒が適切に学ぶことができるよう計画・評価されるよう教育活動を進めていくことが期待されていると思われる。

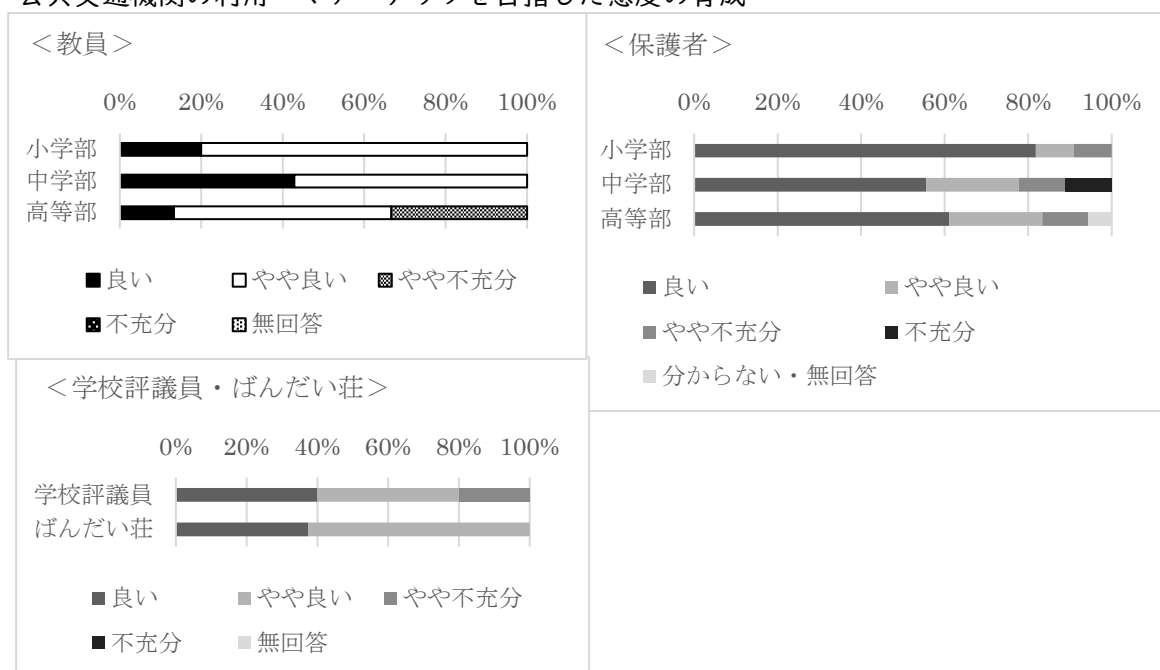
(6) ICTの活用



教員は、ほぼ「良い」「やや良い」で回答しているが、小学部において一部「やや不十分」と回答している。保護者には「やや不十分」「分からない・無回答」との回答が見られた。思われているのではないかと推察される。学校評議員・ばんだい荘職員においては、全員が「良い」「やや良い」との評価であった。今後はさらにICTを活用した教育活動に取り組みたい。

- ・ 教員は概ね高い評価をしているが、一部「やや不十分」という評価もあり、自由記述においてICTの活用法について研修の必要性を記している教員が何名かいた。実際に授業の中で使用しているものの、もっと効果的に教育活動への活用を進めたいという思いがうかがえる。今後、ICTに関する研修を行う必要があると思われる。
- ・ 保護者の評価は、各学部ともに「やや不十分」、中学部・高等部では「無回答」があったが、ICTをどのように活用しているのかという具体的な取り組みが見えないところがあることによる評価であると推察する。より多くの保護者が取り組みをすることができるよう発信し、一人一台端末のさらなる効果的な活用について今後も検討が求められる。

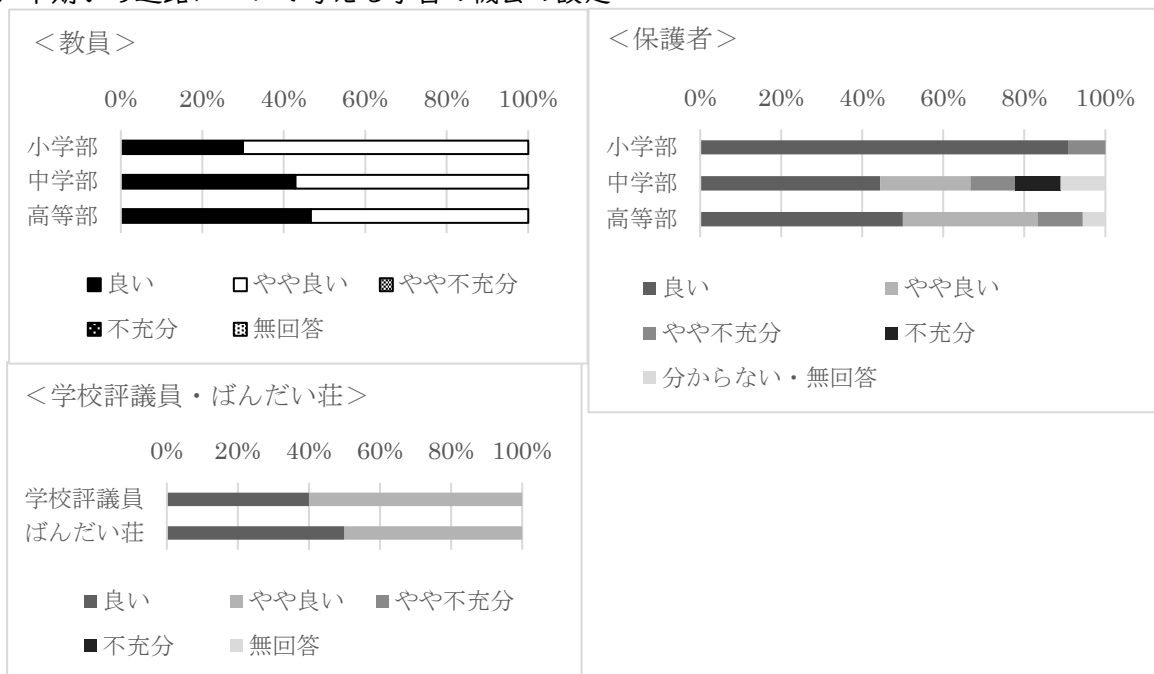
(7) 公共交通機関の利用・マナーアップを目指した態度の育成



教員では、小学部・中学部においては全員が「良い」「やや良い」との評価であったが、高等部において約4割が「やや不十分」と評価している。保護者においても各学部において「やや不十分」「不十分」との評価があった。学校評議員においては、ほぼ「良い」「やや良い」との評価であったが、「やや不十分」との回答もあった。ばんだい荘職員においては全員が「良い」「やや良い」で回答している。この項目については、他項目に比べ「やや不十分」「不十分」という評価が多く、概ね今後、さらに教育活動の中で指導力向上を目指した研修に取り組むことができた」と評価している。

- ・ 教員の評価では、高等部の教員の約4割が「やや不十分」と評価している。実際に今年度は授業の中で公共交通機関を利用した学習が少なかった。児童生徒の将来を考えたときに、公共交通機関を利用することは想定されているので、今後、学習の目標を達成するための手段としてさらに公共交通機関利用に取り組んでいく必要性を改めて考えていく必要がある。
- ・ 保護者においても「やや不十分」「不十分」との回答が目立った。保護者も児童生徒が公共交通機関を利用する必要性を感じていることが分かった。しかし、自由記述の中には、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいことについても記してあった。今後も新型コロナウイルス感染症の感染の状況を見ながら、公共交通機関を利用できる学習活動に取り組んでいくことが望まれる。
- ・ 学校評議員からは、「継続的な計画をお願いします。」という記述があった。本校としても次年度以降も取り組んでいきたい。

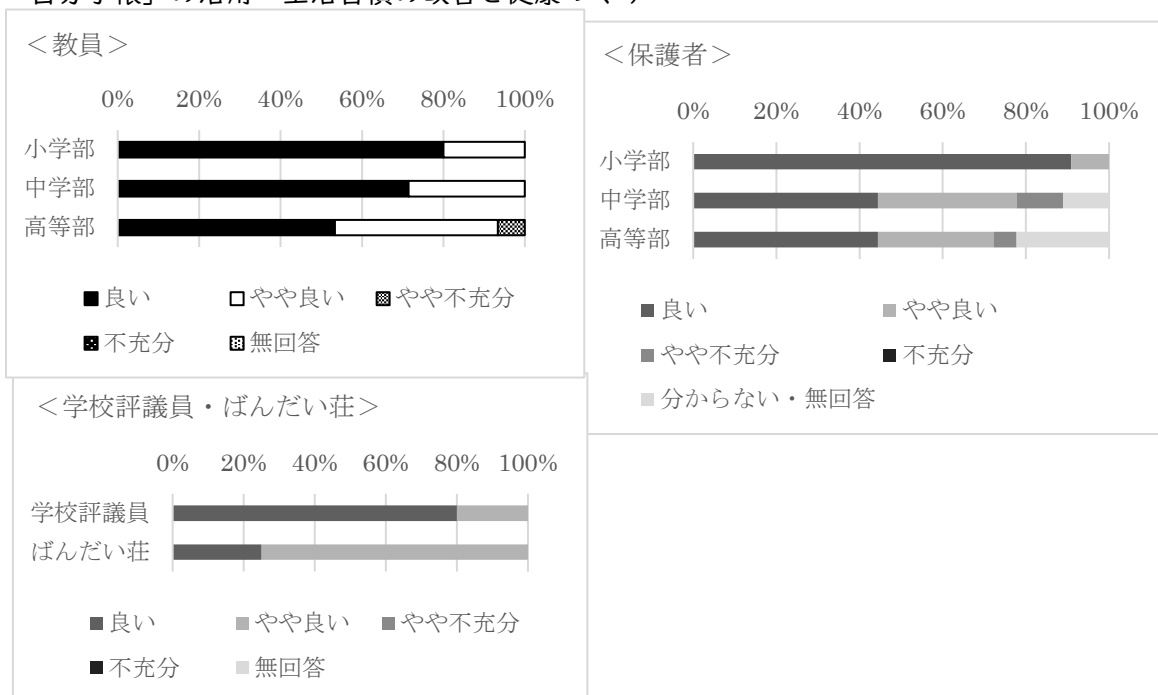
(8) 早期から進路について考える学習の機会の設定



教員、学校評議員、ばんだい荘職員ともに「良い」、「やや良い」と回答しているが、保護者の中には、「やや不十分」「不十分」「分からない・無回答」との回答があった。保護者においては、子供達の進路に対して不安を感じている保護者が多く、さらに早期からの進路学習の大切さを感じていることが分かった。

- 保護者の評価は、概ね「良い」「やや良い」であるが、「やや不十分」「不十分」と回答した保護者の意見には、「中学部に向けてもっと実習体験を増やしてほしい。」(小)や「学校全体を思うと1人1人に対応し切れていないと思いました。」(高)と厳しいご意見もあった。さらに児童生徒に応じた早期からの進路学習を期待されていることが分かった。

(9) 「自分手帳」の活用・生活習慣の改善と健康づくり



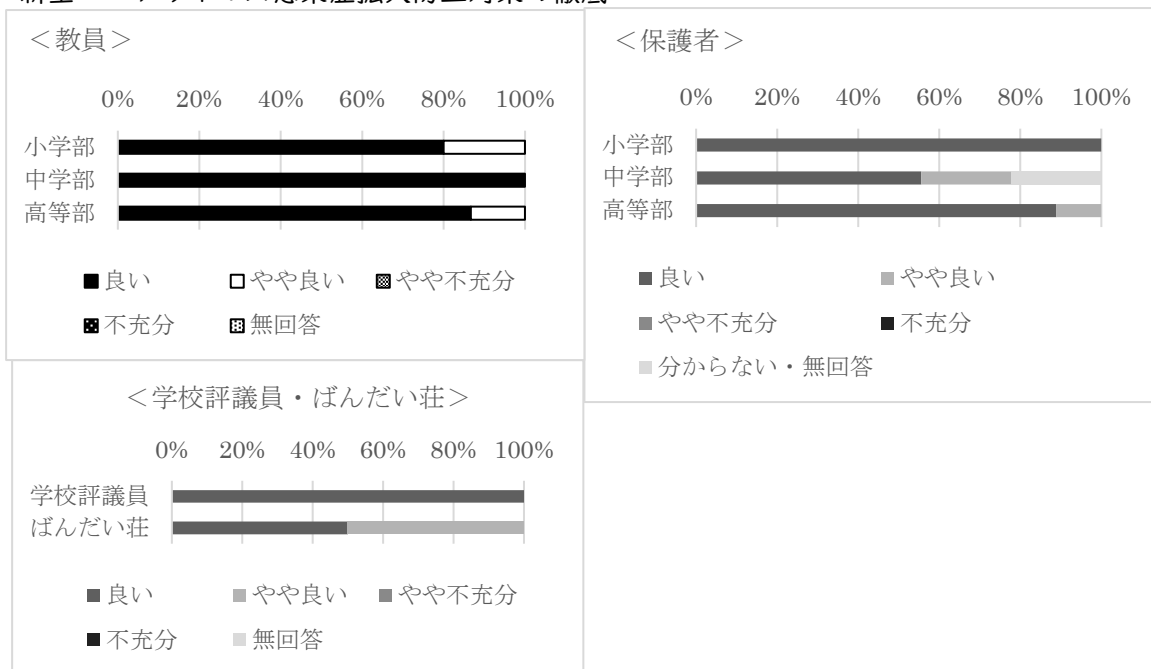
教員はほとんどが「良い」、「やや良い」と評価しているが、高等部に一部「やや不十分」との回答があった。保護者は、ほとんどが「良い」「やや良い」の評価であったが、中学部と高等部に「やや不十分」「分からない・無回答」との回答があった。学校評議員・ばんだい荘職員は「良い」「やや良い」との評価をいただいた。

- 教員はほとんどが「良い」と評価している。「やや不十分」と評価した教員については、「自

分手帳を他の学習と関連させることでより充実した使い方ができると思う。」と前向きな意見が出されており、今年度の取り組みについては、概ね良くできたと評価する。

- 保護者は約8割が「良い」「やや良い」と回答しているが、中学部と高等部に「やや不十分」「分からない・無回答」があった。「始まったばかりで、生かされているか分からない。」という意見もあり、まだ新しい取り組みであるため、よく分からないという保護者が多いための結果であると推測する。今後、「自分手帳」については、保護者にも見てもらう機会も増えると考えられるので、少しずつ取り組みへの理解を進めていきたい。

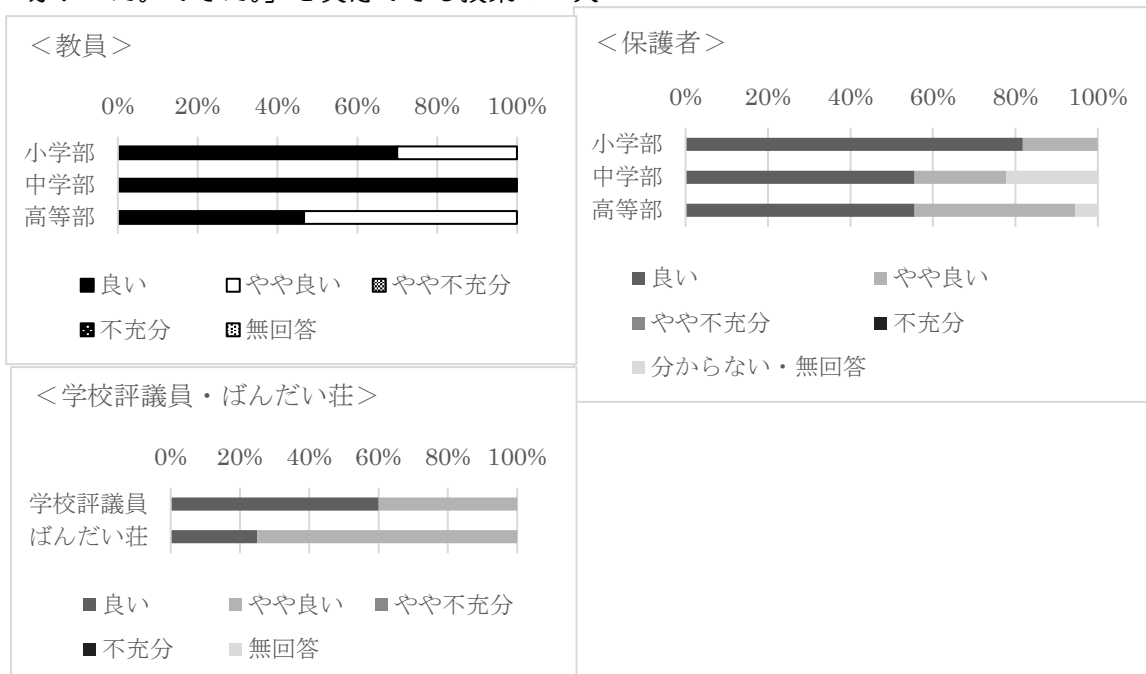
(10) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底



教員、学校評議員、ばんだい荘職員ともに全て「良い」「やや良い」の評価であった。保護者については、中学部において「分からない・無回答」があったが、ほぼ「良い」「やや良い」の評価であり、新型コロナウイルス感染症対策については、徹底されて行われていると評価されていると判断する。

- 中学部の保護者に「分からない・無回答」が見られたが、ばんだい荘生の保護者からの回答であり、新型コロナウイルス感染症の状況もあり、あまり来校される機会がないために答えられなかったと推測される。

(11) 「分かった。できた。」を実感できる授業の工夫

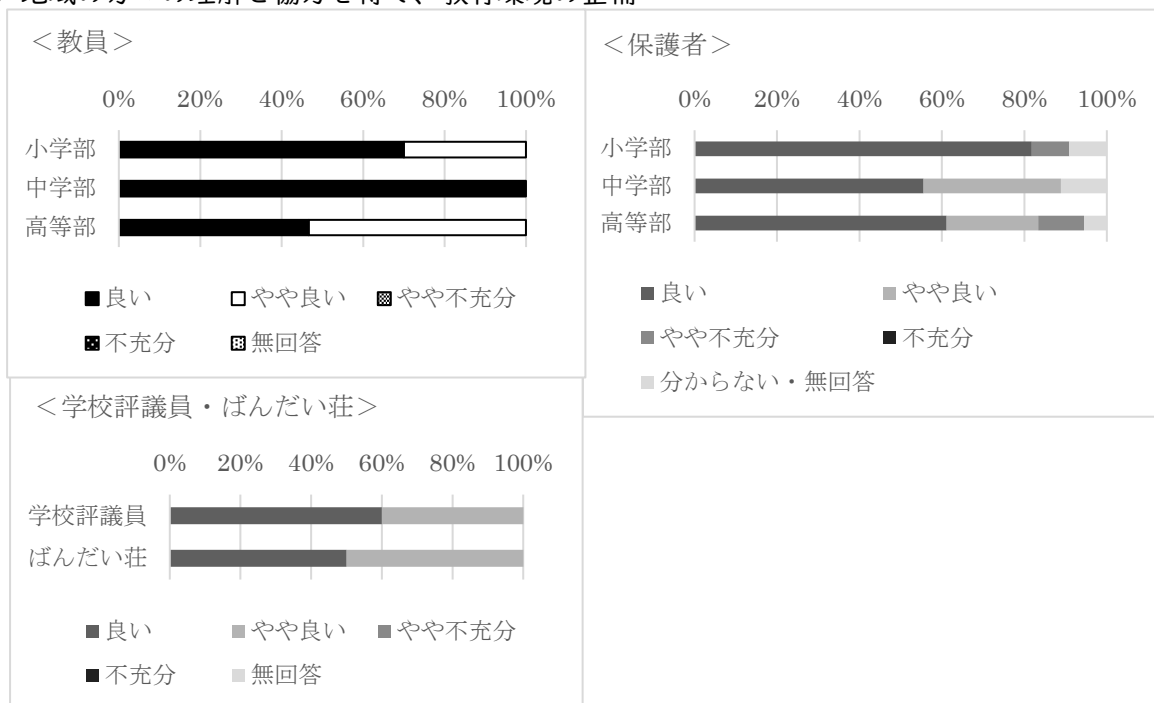




教員、学校評議員、ばんだい荘職員ともに「良い」、「やや良い」で回答しており、特に教員では「良い」と回答している割合は他の項目に比べて全般的に多い。保護者には「分からない・無回答」と回答している方もいるが、概ね「良い」「やや良い」との回答が多かった。「分かった。できた。」を実感できる授業を工夫することができていると評価する。

- ・ 教員、学校評議員、ばんだい荘職員は「良い」「やや良い」と回答しており、概ね良くてきたと評価している。
- ・ 中学部の保護者に「分からない・無回答」が見られたが、ばんだい荘生の保護者からの回答であり、新型コロナウイルス感染症の状況もあり、あまり来校される機会がないために答えられなかったと推測される。

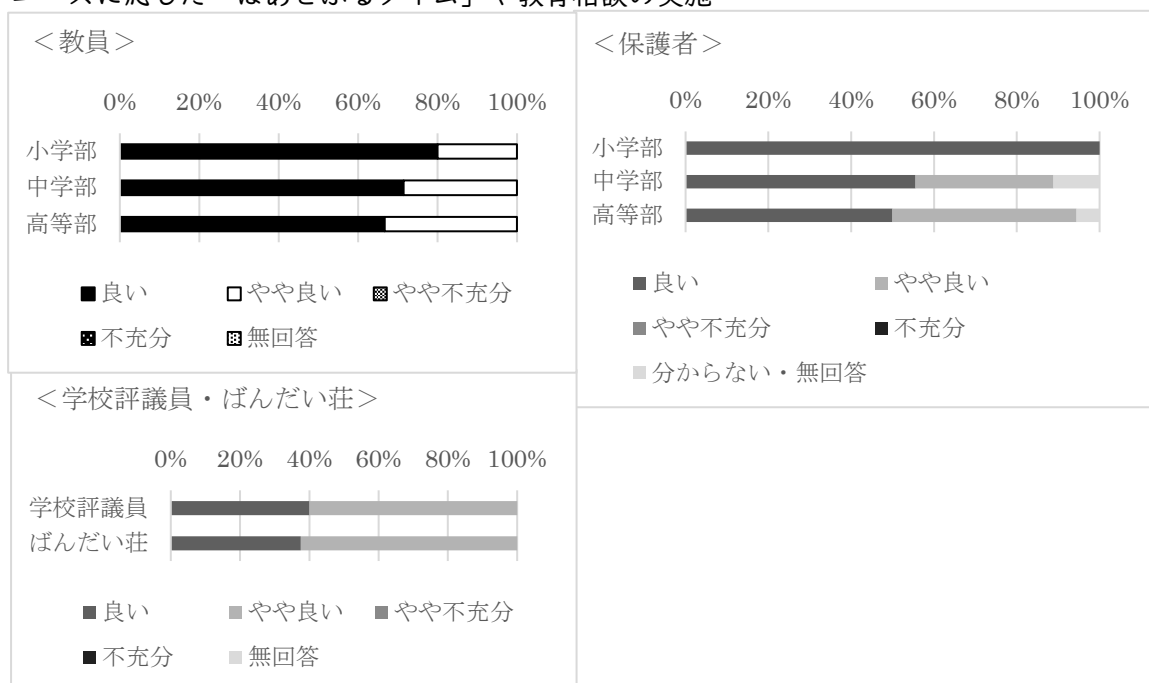
## (12) 地域の方々の理解と協力を得て、教育環境の整備



教員、学校評議員、ばんだい荘職員ともに全て「良い」「やや良い」の評価であった。保護者については、高等部において「やや不十分」、全学部で「分からない・無回答」があったが、ほぼ「良い」「やや良い」の評価であった。

- ・ 教員、学校評議員、ばんだい荘職員において「良い」「やや良い」の評価であったが、**昨年度より教育活動後援会が立ち上げられ、地域の方々、保護者等より支援をいただけたことにより、教材等を購入したり、教育活動への援助をいただいたりしているため、教育環境が整備されたと感じられたのではないかと**思われる。
- ・ 保護者においては「やや不十分」「分からない・無回答」との回答が見られたが、「なかなか理解してもらうのは難しいと思います。」「まだまだ理解、協力が難しいと思います。」という意見が記されていることから、**保護者が地域の中で理解されていないと思うような経験をしたことにより、そのように感じたのではないかと**思われる。今後、本校としても、**地域への啓発を十分に行っていく必要がある。**
- ・ 学校評議員からは、「交流活動は続けていってほしいです。」という意見が出された。本校においては、**地域からの理解を得るためにも、今後も積極的に交流及び協同学習を継続して実施していきたい。**

(13) ニーズに応じた「はあとふるタイム」や教育相談の実施



教員、学校評議員、ばんだい荘職員ともに「良い」、「やや良い」で回答しており、特に教員では「良い」と回答している割合は他の項目に比べて全般的に多い。保護者には中学部・高等部において「分からない・無回答」と回答している方もいるが、概ね「良い」「やや良い」との回答が多かった。保護者や地域のニーズに応じて「はあとふるタイム」や教育相談を実施できたと評価する。

- ・ 教員、学校評議員、ばんだい荘職員は「良い」「やや良い」と回答しており、概ね良くできた」と評価している。
- ・ 中学部・高等部の保護者に「分からない・無回答」が見られたが、ばんだい荘生の保護者からの回答であり、新型コロナウイルス感染症の状況もあり、あまり来校される機会がないために答えられなかったと推測される。また、自由記述として「もっと多くの保護者の方が情報交換できるようになればと思います。話をしたいと思っている方はもっといらっしやと思います。」(高)という意見が出されており、「はあとふるタイム」への期待を感じることができる。

4 アンケートの記述内容からのまとめ (別紙資料参照)

- (1) 教員アンケートの記述では、具体的な改善策が示され、次年度の取り組みに生かされる意見が述べられた。
- (2) 保護者アンケートの記述では、学校に対する感謝や満足感を表す意見が述べられていた。様々な面で新型コロナウイルス感染症の影響により仕方がないという意見もあった。学校の取り組みについて期待の意見が述べられた。次年度の取り組みに生かせるようにしていきたい。
- (3) 学校評議員アンケートでは、学校の取り組みについて良い評価をする意見が多数述べられた。卒業後の進路や連携体制などについて意見が出された。
- (4) ばんだい荘職員アンケートでは、学校評価の資料をとおして学校の様子を知ることができたという意見や、日頃の密な情報交換の有効性などについて意見が述べられた。また、共通の課題についても意見が出された。

## 5 高等部生徒のアンケート結果

各項目で「いいえ」「わからない」の回答がある程度あるが、大きく問題となる回答はない。学校教育目標に関連する質問事項（No.2、3）については、「はい」の割合が高く、自分からあいさつしたり、夢中になれることに取り組んだりすることについては概ねできているが、質問事項No.4は「いいえ」と回答している生徒も多く、なかなか自分の思いや考えを伝えたり、悩みを相談したりすることについては難しいと感じている生徒がいることが分かる。

また、学校の友達と仲良くすること、授業で分からないことを質問すること、決まりや約束を守ること、自分の役割を行うこと、自分の進路について学習することについては「はい」の割合が高いが、少数ではあるが授業の分かりやすさについて「いいえ」と答えている児童がおり、さらにそれぞれの生徒が「分かった。できた。」を実感できる授業の工夫をすることが必要であることが分かる。

記述による回答では、積極的に良い学校にしようとする意見のほか、授業や自分の目標への取り組みに関する意見が出された。

### <アンケート集計結果>

	質問事項	はい	いいえ	わからない
1	学校生活は楽しいですか。	16	0	1
2	自分からあいさつすることができていますか。	16	0	1
3	夢中になれることがありますか。	14	2	1
4	先生や友達に自分の思いや考えを伝えたり、困ったとき、悩んだときには先生に相談したりしていますか。	12	4	1
5	学校の友達と仲良くしていますか。	16	0	1
6	授業はわかりやすいですか。	14	3	0
7	授業でわからないことがあれば、先生に質問していますか。	16	0	1
8	学校の決まりや約束を守りながら生活していますか。	16	0	1
9	学級の係や委員会での自分の役割をしっかりと行っていますか。	16	1	0
10	自分の進路（卒業してからのこと）について、しっかりと学習していますか。	16	0	1
<p>○ よい学校にするための意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分からあいさつをする。2</li> <li>・ けんかをしないでみんな仲良くする。</li> <li>・ あいさつ、明るい学校、楽しい学校。</li> <li>・ 明るいあいさつ、楽しく遊ぶ。</li> <li>・ 人の役立つようなことをみんなで協力して取り組む。</li> <li>・ 学校をきれいにするためにまずは自分の周りからきれいにしていく。</li> <li>・ 作業をしっかりと行くと仕事をしっかりとできるようになる。</li> <li>・ 勉強を難しくしてほしい。</li> <li>・ 授業はときどき分からないことがあります。</li> </ul>				

## 教員、保護者、学校評議員、ばんだい荘職員アンケート記述内容

## &lt;教員&gt;

「3 夢中になれることを探究できる力」

- 経験が少なく、興味の幅も狭いため、いろいろな機会を与えて選択肢を広げる必要がある。

「6 ICTの活用」

- 詳しい方は役立てていると思いますが、個人差があるように思うので、活用法の情報共有の場が増えると良い。

- 教員自身をもっと研修を行って活用法を身につけなければならない。

- 教員が自己研修を行うことが必要である。

「7 公共交通機関の活用とマナーアップした態度の育成」

- コロナの状況もあるが、電車利用などをできるようにしていく必要がある。

- 交通機関を利用するよう校外学習を計画していくしかないでしょうか。

- コロナでタクシーなどの移動が強いられている、仕方ない。

- 公共交通機関を利用することが少ない。

- 保護者への意識啓発をもっとしていく必要がある。

- 公共交通機関に絞らず、公共の施設なども含めると評価しやすい。

「9 自分手帳の活用及び生活習慣の改善と健康作り」

- 自分手帳を他の学習と関連させることでより充実した使い方ができると思う。

## &lt;保護者&gt;

「2 自分からあいさつできる力の育成」

- 校長から声をかけていただいてそうと思いますが、子供が難しいようです。(中)

「6 ICTの活用」

- 本人からの話を聞くことができないので、後からの学校報告だけでは評価できませんでした。(高)

「7 公共交通機関の活用とマナーアップした態度の育成」

- コロナの影響もあり、タクシー移動が多いので難しいと思います。(小)

- コロナの影響による移動の減少。(高)

- 公共交通機関の利用を増やしてほしい(体験を増やす)。

「8 早期から進路について考える学習の機会の設定」

- 中学部に向けてもっと実習体験を増やしても良いのではないのでしょうか。(小)

- 学校全体を思うと1人1人に対応し切れていないと思いました。(高)

「9 自分手帳の活用及び生活習慣の改善と健康作り」

- 始まったばかりで、生かされているかは分からない。(高)

「11 「分かった。できた。」を実感できる授業の工夫」

- 分かったとは言っていますが、本当に分かっているのかと思うときがあります。(小)

「12 地域の方々の理解と協力を得て、教育環境の整備」

- なかなか理解してもらうのは難しいと思います。(小)

- まだまだ理解、協力が難しいと思います。(高)

「13 ニーズに応じた「はあとふるタイム」や教育相談の実施」

- もっと多くの保護者の方が情報交換できるようになればと思います。話をしたいと思っている方はもっといらっしやると思います。(高)

「全般」

- 細かい支援ありがとうございます。息子に寄り添って学習している先生方に感謝します。校長

先生はじめ支援学校に入学させて大正解だと思っています。(小)

- 第一印象はとても活気のある学校でした。校長先生の挨拶も清々しく好印象で学校の雰囲気伝わります。休み時間の過ごし方を見ても先生方が真剣に児童に向き合っており、これが本来の学校の姿だと改めて感じました、子供達も先生方を信頼し心を開いているのが見て取れますし、先生も信頼でき、子供達も思いやりのあるよい子で素晴らしいと思います。行事等も子供、親から見ても魅力的です。(小)
- コロナによる制限がある中、可能な形で行事を行っていただきありがとうございます。毎日楽しく学校に通っています。(中)

#### <学校評議員>

「7 公共交通機関の活用とマナーアップした態度の育成」

- 継続的な計画をお願いします。

「12 地域の方々の理解と協力を得て、教育環境の整備」

- 交流活動は続けて行ってほしいです。

「全般」

- 個々の能力を引き出していると思います。特に美術が良いと思います。
- 総合的に見て児童生徒に対し積極的に対応しており、学校運営についても良い方向に進んでいるものと思われます。今後の指導に期待しております。
- 進路についての将来像の取り組み内容がもう少し説明されると理解されやすかった。
- 保護者間の連携体制を学校側からも推進してもらえると卒業後の連携にもなるのではないかと思われる。親としての意識が高まるよう、交流・相談ができる場を提供してもらえると安心にもつながるのではないかと。

#### <ばんだい荘>

「2 自分からあいさつできる力」

- 立ち止まってのあいさつがすばらしいです。

「3 夢中になれることを探究できる力」

- ばんだい荘でも課題であると考えています。

「全般」

- 細かな面でも情報交換をさせていただいており、大変ありがたく思っています。
- 学校の様子はなかなか分からないので、資料が添付されていて知ることができ、良かったです。